

第48号 2016年9月15日

663-8143 西宮市枝川町 19-10 甲子園浜自然環境センター内 甲子園地区埋立事業対策協議会気付

<http://www.npo-koshienhama.com/>

## ★ 平成28年「海の日」国土交通省海事功労者等表彰 ★

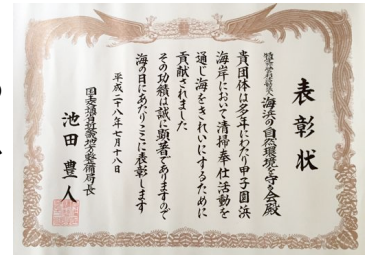
「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」



7月19日、ホテルオークラ神戸にて、上記表彰式があり、NPO法人海浜の自然環境を守る会が近畿地方整備局長表彰を受けました。

長年にわたり甲子園浜で、美化活動を続けてきたことが認められました。ひとえに、毎回参加して下さった多くの地元住民、学生、企業の方たち、また一貫して収集してくださっているヤマサ環境エンジニアリングさんの協力の賜物です。

大阪湾の奥にある全長2kmあるかなしかの小さな甲子園浜。この甲子園浜の自然をいつまでも、大切に、守り、残していきたいという、多くの人たちの思いをいただいて、これからも甲子園浜の清掃をつづけていきます。

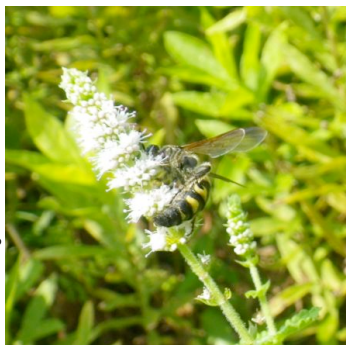


## 甲子園浜の虫の観察会

8月2日(火)午前10時より、神戸女学院大学遠藤知二先生、兵庫県生物学会西本裕先生を講師にお願いして、虫の観察会を開催しました。

日本列島の海岸線は33889km、地球一周は40000km。長い海岸線で囲まれている島国日本で、海浜は貴重な自然です。海浜の植生を守ることは、日本の自然を守ることでもあるのです。浜辺にいる虫たちが、花粉を運び受粉させることで、植生を守る役目を担っています。

浜に出ると、ミントが野生化して茂っていると、オオモンツチバチが飛び交っていました。ツチバチは、砂中のコガネムシの幼虫に卵を産みつけるそうです。



ミントの花にオオモンツチバチ

ハマゴウはすでに結実しているのもありましたが、枝先に紫の花が咲いています。そこにハマゴウの花の

形(大きさ、雌しべ、雄しべの位置)と、体の形、大きさがマッチして、ハマゴウの送粉スペシャリストといわれるキヌゲハキリバチが、まさにごちそうを喜んで食べているように飛び回っています。このハチも砂地に穴を掘って巣を作ります。ほかに、ネジロハキリバチ、キアシハナダカバチモドキなど確認されました。

前日に仕掛けておいた、イエローパントラップという、水に食器洗い用洗剤を数滴入れた黄色の深皿の中には、オオモンツチバチや



オオハサミムシ、ゴミムシダマシ、コバチ、クモ、ハエなどの仲間が入っていました。使用した水はバケツに入れて決して浜には捨てません。昆虫を研究なさる先生方の、環境保護を最優先し、昆虫たちへの優しいまなざしが印象的な観察会でした。子どもたちは、網や素手でバッタを捕ったり、チョウを捕ったり自由に楽しんでいました。35名の参加でした。(岸川記)

# はまん婆のひとりごと

ハマビシ

ちょうど13年前の9月15日にハマビシという海浜植物がやって来た。兵庫県立「人と自然の博物館」の赤澤宏樹氏によってだ。ハマビシは、日本では1科1種の希少なものだ。海岸開発で消滅の心配がある。環境省絶滅危惧種1B類・兵庫県Aランクだ。

甲子園浜で受け入れに当たりよく調べると海水浴場では実の棘の鋭さから嫌悪植物だという。ハマビシの身になって考えるなら子孫を守るために栗のイガみたいに棘で武装しているのだろう。人影の少ない枝川排水門西の新砂浜がハマビシの苗30鉢の里親になった。

翌2004年6月には19本の芽生えがあり順調に育っていた。ところが秋の連続台風で跡形もなくなった。2005年それでも生き残っているかもしれないと広く新砂浜中を毎年探し回った。

2009年、諦めかけた時に「ハマビシがありますよ」と松岡成久氏から電話があり「どこに？」というわけで見地を教えてもらった。そこは、思いがけない場所で西方70m離れたツルヨシ浜だった。以後毎年確認できてきた。

今年2016年7月、植物調査で、またまた思いがけない場所（浜甲子園二丁目西端砂浜）で発見された。650mも離れた所に新天地としてやって来たのだ。来年も沢山実を成らせて波と潮流の力を借りて香爐園浜など他の浜にも新天地をつくってほしい。 東山 直美



ハマビシの花



ハマビシの実トゲ

旧阪神パーク跡のライオン岩。誰かが洗っている？

2016年5月8日

2016年6月5日



写真提供 青石弘氏

## ！！甲子園浜の昔の写真 大募集！！

写真展「よみがえる昔の甲子園浜」を開催します。

戦時中の飛行場、戦後の駐留軍、厚生年金プール、海水浴場、阪神パーク（初代・二代目）、家族写真。

戦争や阪神淡路大震災などの大きな災害を経験した甲子園浜。今も年々その姿をかえていきます。

昔のお写真をご家庭に眠っていませんか？

古い写真は地域の宝物です。どうぞ捨てないで提供してください。

写真展開催中に、甲子園浜の昔の姿を語っていただく会を持ちます。語ってくださる方も募集中。

連絡先：NPO 法人海浜の自然環境を守る会

事務局岸川：0798(49)1403

## 活動報告

- 7月17日 海浜清掃 73名 可燃物270kg、不燃物70kg（ヤマサ環境エンジニアリング調べ）
- 7月31日 南甲小・青愛協生き物学習会
- 8月2日 甲子園浜の虫の学習会

## 活動予定

- 9月22日(木)大阪湾生き物一斉調査結果発表会（大阪市立自然史博物館）
  - 9月25日(日) 海浜清掃
  - 11月1日(火) よみがえる昭和の甲子園浜写真展～9日(水)
  - 11月6日(日) 伊藤ハム合同クリーンアップ
- 6月から毎月甲子園浜植物調査をしています。

## 甲子園浜埋立事業対策協議会通信

平成28年8月26日網引市民館にて協議会開催。津田泰男前会長の逝去に伴い、新会長に泉敏夫氏が就任しました。

- 1 甲子園地区公共ふ頭の利用状況について
- 2 新川・東川統合排水機場事業について
- 3 甲子園浜付近で実施する港湾・海岸事業について
- 4 水上バイクについて